

「令和5年度 阪南2区北側海浜緑地におけるアマモ移植会」の概要

- 日 時 令和5年3月11日(土) 10:00~14:00
- 場 所 阪南2区北側海浜緑地(岸和田市)
- 主 催 CIFER・コア、NPO 法人大阪海さくら
- 参加人数 44名(NPO 法人大阪海さくら4名、CIFER・コア6名、東亜建設工業(株)12名、センコー(株)6名、鴻池運輸(株)1名、東洋建設(株)1名、その他14名)
- 活動内容 10:00 集合
清掃作業
10:40 アマモの移植作業(アマモ育成ポッドからアマモ育成カゴ3個へ移植)
護岸法尻における藻類の繁茂状況確認のため、ダイバー(城者氏)による水中撮影
12:00 昼食・休憩
13:20 アマモ育成カゴ2個を食害防止ネットで囲み、水深1mの海底2か所に設置
アマモ育成カゴ1個をCIFER・コア等が実験中のアマモ養成筏に垂下
14:10 解散

○概 要

CIFER・コアとNPO 法人大阪海さくらでは、阪南2区人工干潟において2年間に亘りアマモ苗の移植を試みましたが、根付かなかったことから、今年度は砂を入れたアマモ育成カゴ3個に苗を移植することとしました。育成カゴのうち2個については、魚等の食害を防ぐために周囲をネットで囲んだボックスに入れ、ダイバー(城者氏、木村氏)の手により、水深1mの静穏な海底2か所に設置されました。さらに残りの1個は、CIFER・コアと東洋建設株式会社が実験を行うアマモ養成筏に吊下げられました。

当日は風もなく良い天気の中で、44名(うち子供3名)の参加があり、護岸周辺の清掃活動の後、楽しみながらアマモの移植作業が行われました。それぞれが家庭などで育てたアマモポッドは130個が回収され、また、大小7個の水槽で育てられたアマモ苗も加えると、かなり密集した状態で養成カゴに植え付けることができました。今後、3か所に設置したアマモ苗の順調な生育を期待して観察を進めていきます。

また、CIFER・コア独自の取り組みとして、阪南2区北側海浜緑地の石積傾斜護岸におけるブルーカーボンクレジット獲得の可能性を探るため、護岸法尻における海藻の繁茂状況について水中撮影を行いました(ダイバーは城者氏)。





▲護岸の清掃作業の様子(45袋のゴミを回収)



▲アマモ苗の移植作業について説明



▲CIFER・コアで育てたアマモポッド



▲アマモ苗の移植作業



▲移植が完了したアマモ養成カゴ



▲アマモ育成カゴ・食害防止ネットの設置



▲アマモ養成筏への垂下作業



▲護岸への海藻の付着状況を撮影

